

第5回 秋田県・市連携文化施設基本設計ワークショップ 「運営管理計画について考える」の意見交換会」のまとめ

第5回ワークショップ（平成29年10月31日開催）では、運営管理計画についての意見交換を行いました。そもそも運営管理計画とは何か？についての説明を受けた後、「自主事業」「利用規則」「組織計画」についての意見を出し合いました。初めてのテーマにも関わらず、多くの具体的な意見が出されました。



たぬきチーム

たぬきチームでは、秋田を盛り上げるべく、地元の人材育成、地域資源を活かす工夫や、公演以外で地域とのつながりを作るアイデア、施設の収入を増やすためのアイデアなどが出されました。

意見まとめ

【事業計画】

- ・秋田の伝統芸能を広めるイベント
- ・周辺の商店街や文化施設との連携・共同企画（チケットの半券持参で地元商店街の利用が10%OFFなど）
- ・舞台技術体験講座で人材育成

【利用規則】

- ・ネーミングライツや物販で収入を得る
- ・休館日を月曜日以外にして他文化施設を差別化する

【組織計画】

- ・直営か指定管理かは結論出さず
→直営の場合は思い切った事業が可、指定管理の場合は選定方法に工夫を！直営と指定管理のMIXは？
- ・劇場ボランティアスタッフ制度をつくり、働いた分をポイントでためて利用できる減免を
- ・秋田弁で案内をする！



きのこチーム

きのこチームでは、招聘したい具体的なアーティストや、開館時間、予約に関すること、芸術文化ゾーンの旗手となる人や芸術監督に関すること、市民サポーター制度などについて意見が出されました。

意見まとめ

【事業計画】

- ・歌舞伎で若手の花形を呼んでほしい
- ・中島みゆき、弧の会、高橋優さんと呼んでほしい！
- ・事業費は越年できるようにしてほしい

【利用規則】

- ・朝の利用時間を早くしてほしい。準備が間に合わない。
- ・1年前に利用申請できるようにしてほしい。

【組織計画】

- ・芸術文化ゾーンの旗手となる人が必要 芸術監督、プロデューサー、ディレクターが必要
- ・市民サポーター制度の導入を！

かぼちゃチーム



かぼちゃチームでは、プロによる質の良さだけでなく、未来の子供たちへの繋がり・広がりを作る事業や、利用時間に関すること、芸術監督だけでなく、それを支える地元の専門家を置くことなど、具体的なアイデアが出されました。

意見まとめ

【事業計画】

- ・民間で呼べないオペラやバレエを誘致してほしい！（せっかくのオケピを有効活用）
- ・プロから指導を受けられるワークショップを
- ・学校公演とコラボし、音楽家や踊り手と子供たちを結ぶ工夫を

【利用規則】

- ・諸室によって異なる利用時間の設定が可能な仕組みを作してほしい（練習室だけは23時までなど）
- ・専属技術スタッフの在り方（館の技術スタッフが手伝ってくれる範囲を明確にするなど）
- ・冷房・暖房どちらも年間を通して利用できるように

【組織計画】

- ・指定管理の方が良い
- ・芸術監督は置くか置かないかで方向性が変わる 監督だけでなく、他分野の地元の専門家も入れて全体の方向性を決めるための組織づくりが必要

【いただいたご意見すべて！】（原文ママ）

た め き	事業計画
	<p>【公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演奏・演技を提供できるようにしてほしい ・国際共同制作を年1回入れる→子供たちにより体験の場をつくる ・カウントダウンイベントに対応できること ・高橋優さんの父が民謡歌手なので是非・・・ ・地元のアーティストを大事にほしい ・大人のわらび座芸術鑑賞会 <p>【普及】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田の伝統芸能を広める事業を <p>【公演以外のイベント・まちづくり・地域とのつながり・人の動きをつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールとまちなかをつなぐイベント（年末でも・・・） ・周辺商店街、文化施設との連携・共同企画 ・近隣のショッピングモールとコンサートを盛り上げる ・ホールの上に片寄らず、ホワイエでの個展など多様な人が使える事業運営 ・男鹿さん（ジブリの人、秋田出身）のワークショップ（一般市民に向け） ・若い人たちが参加するイベント 全国規模の大会 ・ライブの半券見せるとカフェのメニュー10%OFFなど。 <p>【人材育成・地域の大学を活かす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のカレッジプラザを県民会館に移す

	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台技術体験講座で人材育成※優秀な人材は行政主導でなければ集まらない
	<p>利用規則</p> <p>【利用料金に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネーミングライツによる事業収入 ・物販による売り上げも利用料としてもらう ・貸館のイベントのプレイガイド機能を高め、収入を増やす ・チケット代金に合わせて利用料を決める ・地元の団体が利用しやすい料金設定（貸館） <p>【休館日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館日を月曜日以外にして他施設を差異化する ・休館日は少ない方が良い <p>【減免の在り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料「減免」より「補助金」の方が明確かも ・減免の範囲を広くしてほしい <p>【使いやすいルールづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・託児所を作る（集中してコンサート・ライブを楽しめるよう） <p>【予約・申し込み方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借りる日が重なってくじ引きになり、当たらなかった時は次の月に少し優先してほしい ・期間の見直し ・抽選方法の工夫
	<p>組織計画</p> <p>【指定管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の選定方法を工夫してほしい ・直営の良さと指定管理の良さをミックスできないか？ ・直営の方が思い切った事業が出来る <p>【サポーター・ボランティア・コンシェルジュ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場ボランティアスタッフ制度をつくり、働いた分をポイントでためて利用できる減免を ・ボランティアのロビースタッフ、ホール案内人 ・秋田弁で案内する
きのこチーム	<p>事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎を呼んでほしい。花形の若い人を。 ・コケラで中島みゆきを ・こけらに弧の会を 男性日本舞踊集団 ・高橋優 ・2000席が満席になるビッグアーティスト招へいする。 ・ウラジオストックのオペラ劇場、パレードとの連携。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業であまり教育効果を言わず、ポップミュージシャンを入れていく。 ・落語で儲け、オペラで支出のような弾力 ・収支リスクを越年させる工夫 ・若い人が集うアーティストを呼ぶ事業計画
	<p><u>利用規則</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理の都合で前準備の時間が取れないのは困る。早く開いてほしい 7:00～ ・開館時間を早くしてほしい。8:30 では遅い ・県と市が早く会場をとるのをやめてほしい ・1年前には必ず会場を借りられるようにしてほしい ・クレマーを恐れてあらかじめ管理規則を必要以上に細かくしない ・なるべく管理は柔軟に！アーティスト観覧者の自由を最大生かしてほしい ・屋外スペース 24 時間開放して下さい ・屋外にストリートミュージシャンが来ても排除しない！むしろ集めてにぎわいを作る ・行政利用で使用料減額は NG ・各団体の物品を置けるスペース ・水上遊歩道をよろしく
	<p><u>組織計画</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術ゾーン全体を考え、イニシアティブを取る人材が必要 ・いわゆる芸術監督、プロデューサー、ディレクターが必要 ・政党政首のような人が居ればよい ・芸術監督が必要 ・芸術ゾーンを含む一貫性が求められる ・市民サポート組織をつくる際、一回声掛けた位であきらめない！ ・指定管理者は必要 ・若い人が集うアーティストを呼ぶ組織
か ぼ ち ゃ ち ー む	<p><u>事業計画</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間でできないオケピットを使ったオペラ、バレエ（地元の人々が参加できる） ・直接指導を（プロから）受けるワークショップ マスタークラス ・学校公演とコラボ ・伝統芸能も絶えないよう披露する計画 公演する事業
	<p><u>利用規則</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間の貸し館 施設利用 23:00 までなど（仕事、学校の後）（スタッフの人員費次第）（基本は決めて、場所によって可能に） ・館内の一部を長時間開放 ・開館も早くからできるように ・練習室は自主管理 ホールは決めた時間 ・技術監督 機材の管理 生かせる計画 ・入場料によって貸し館料を変える（今までどおり）

	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房いつでも入れられるように（季節関係なく） ・自主事業の計画早めに ・大、中、ホール他施設全体の状況を見えるように ・予約は1年前 特別申請はその前
	<ul style="list-style-type: none"> ・専属スタッフのあり方（統一の取り決め、できること、できないことを明確）
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術をもったスタッフは絶対必要
	<ul style="list-style-type: none"> ・開館の使用時間の設定 am7:00～pm23:00 頃まで出来る事
	<p><u>組織計画</u></p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術監督置くか置かないかによる（国からの助成を受けられる）
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての演目に精通する芸術監督。地元にも通ずる。いない。どういう方向性にするか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・幹となる色合いを決めて（芸術監督）枝葉を作るような組織
	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメントに精通した方も必要